

学校教育目標	校訓『和 なごみ』 教育目標「よりよく生きようとする子どもの育成」
--------	--------------------------------------

評価計画						
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値
豊かな心（徳）	1	多様な他者を尊重し、協働できる児童の育成	あいさつの充実を図ること で、気持ちよく学校生活を送ろうとする児童を育成する。	○あいさつ週間を設け、自ら進んで元気よく、友達や先生、地域とつながるあいさつに対する意欲を高める。 ○振り返りカードをもとにした、日々の自己評価、生活委員会や教員の声掛けを通して、あいさつに対する意欲を高める。	○進んであいさつができていると肯定的に答える児童の割合（アンケート）	90%
確かな学力（知）	2	主体的、対話的に深く学ぶ児童の育成	教科等の特質に応じたつきたい力を明確にしながら、「学び場」の工夫を取り入れた授業を行うことで、学習への主体性が高い児童を育成する。	○教科等の特質に応じたつきたい力を明確にし、「学び場」の工夫を取り入れた授業を行っている。	○「『学び場』を工夫できた」と答える教職員の割合（教職員アンケート） ○「『学び場』が効果的だった」と答える児童の割合（児童アンケート）	80%
健やかな体（体）	3	健康でたくましい心と体の育成	縄跳びに年間を通して取り組むことで、基礎体力の向上を図り、自己の記録にチャレンジしつづける児童を育成する。	○児童一人一人が、自己目標を設定し、意欲をもって粘り強く縄跳び検定にチャレンジする。 ○ロングタイム昼休憩や中庭を活用し、縄跳びに取り組む時間と場所を確保する。	○縄跳び検定カードで自己目標級を達成できた児童の割合	80%
地域とともにある学校づくり	4	保護者や地域に開かれた信頼される学校づくり	行事を通して学んだことを意欲的に発信する児童を育成する。	○行事を通して他学年や地域に学んだことを発信することにより達成感や満足感を実感させる。	○行事を通して学んだことを発信することの良さを感じた児童の割合（アンケート）	80%
			「人のために役に立つ」という意識をもち続ける児童を育成する。	○自分の役割を振返る「つくしちゃんカード」に取り組む、自分で立てためあての達成状況と課題、人のためにどのように取り組んでいくか見直すとともに、その内容を他者と交流する。	○人のために役に立つことができた肯定的に答える児童の割合（アンケート）	90%
			学校と地域が協働することで、子供たちの学びや成長を支えるための取組を行う。	○地域と共に協働して行う授業・行事を年3回以上実施するとともに、コミュニティ・スクールだよりを年4回以上発信する。	○地域と協働して行う授業・行事において肯定的に答える児童の割合（アンケート）	85%
			地域・保護者への発信を通して信頼される学校づくりを行う。	○学校だよりを月1回、HPを月1回以上更新して、保護者や地域に情報を発信し、開かれた学校づくりを行う。	○信頼される学校づくりについて肯定的に答える保護者・地域の割合（アンケート）	85%
			子供と向き合う時間の確保と働き方についての意識の高揚を図る。	○業績評価書に業務改善についての目標（時間目標とその方法）を設定する。	○業務改善を進めることができた（達成度3・4）と答えた職員の割合	80%